



平成 26 年 10 月 1 日
海 上 保 安 庁

第 5 回臨時国際水路会議の開催

海上保安庁は、10月6日～10日にモナコで開催される国際水路機関（IHO）の第5回臨時国際水路会議に参加します。
今回の会合は、水路業務の技術的事項等について議論されます。

1. 日程
平成 26 年 10 月 6 日（月）～10日（金）
2. 場所
レーニエ三世国際会議場（モナコ公国）
3. 主な出席者
春日 茂 海上保安庁海洋情報部長
4. 主な議題
 - (1) 国際水路機関事務局の技術的能力に関する報告
事務局より、国際水路機関の業務能力を高めるための措置及び勧告について報告されます。
 - (2) 信頼できる多様なデータソースの活用方策
GPSに代表される正確な位置測定やマルチビーム測深器の導入などにより、民間船の測量データ取得力は飛躍的に向上していることから、民間船が保有しているデータの活用方策などについて議論されます。
 - (3) 人工衛星を用いた水深測定技術の開発
測量が十分でない浅海海域において、人工衛星による水深測定技術を用いた海図作成の評価プロセスなどについて議論されます。

(参考)

国際水路機関：International Hydrographic Organization (IHO)
海図や水路誌などの改善を通じて航海をより安全に行うことを目的として、1970年に発効した「国際水路機関条約」に基づく国際機関（加盟国：2014年9月現在82カ国）。

国際水路会議:International Hydrographic Conference (IHC)
国際水路会議は、5年に1度開催されるIHO条約加盟国の総会。
臨時国際水路会議は、国際水路会議の中間の年に開催される。